

# 晩生スーダングラスの優良品種「うまかろーる」の特性

畜産試験場 草地飼料担当

ソルガムは、子実型、兼用型、ソルゴー型、スーダン型、スーダングラスに分類されており、多種多様な性質を持つ品種が販売されている。中でもスーダングラスは、サイレージのみでなく、青刈り、乾草としても利用されており、ロール体系にも適する品種として幅広く利用されている。

そこで、市販品種のうち有望度の高い品種について本県における諸特性を明らかにし、新たに「うまかろーる」を奨励品種に選定したので紹介する。

## 【「うまかろーる」の特性】

- ①晩生品種で、出穂が遅く、刈り取り期間が長い。
- ②ヘイスーダンと比較して葉の割合が多く、消化率が高い。
- ③ヘイスーダンと比較して乾物収量、特に1番草が多収であるが、再生はやや劣る。
- ④稈径が太く、サイレージ、青刈りが適する。
- ⑤紫斑点病にやや弱い。

表1 生育特性、収量性

	品種名	紫斑点病	倒伏	草丈	稈茎	乾物収量	乾物率	再生の良否
			%	cm	mm	kg/a	%	
1番草	ヘイスーダン	3.7	16.7	247.0	5.8	97.1	21.9	7.4
	うまかろーる	4.8	12.8	247.8	7.7	114.8	16.6	4.2
2番草	ヘイスーダン	6.5	4.3	243.3	6.3	64.2	18.1	
	うまかろーる	5.5	8.5	213.4	7.7	53.5	14.8	

(注1) H14、H16、H17データの平均値 台風等の影響があったため2番草についてはH16を除く

(注2) 刈取時期は伸長期～出穂期

(注3) 紫斑点病 1(良)～9(劣) 再生の良否 1(良)～9(劣)

表2 飼料成分

品種名	草丈	ADF	OCW	Oa/OCW	OCC+Oa
うまかろーる	170cm	34.30	56.37	24.32	44.36
ヘイスーダン		35.74	58.74	16.31	41.36
うまかろーる	200cm	36.34	58.15	19.55	41.03
ヘイスーダン		39.35	65.10	15.72	35.62
うまかろーる	240cm	39.00	65.09	14.88	33.39

H18畜産試験場1番草分析値